



# 安行東中だより

より賢く より美しく よりたくましく

川口市立安行東中学校  
〒334-0059 川口市大字安行 34 番地  
TEL048-294-2789 FAX 048-294-2796  
令和4年度 No.2 発行 令和4年5月16日

## 意思決定の機会をつくることを通して

校長 山本 智広

若葉の緑の輝きが日を追うごとに増す季節を迎えました。新学期が始まって一か月が経ち、新しいクラスや生活になじみ、頑張る生徒の姿が多く見られます。学校生活では様々な学びの場がありますが、そこで大切にしたいことの一つに「意思決定」があります。つまり、何となくその学びの場に参加するのではなく、活動に対して「どのように関わり、そこでどうしたいのか、そのためにどうするのか。」ということをも自分で考え、決めて取り組むということです。

例えば、6月2日には生徒総会があります。一人一人が生徒会の一員として、自分たちでよりよい学校生活の在り方を問い直し、「どうすれば良いだろうか」と考え、決めていく機会になります。また、部活動では短い練習時間の中で効率よく上達するためにどうすればよいか、試合などの様々な状況の中で自分たちが判断し、行動できるようになるためにはどうしたらよいかなども、同様の機会になるように感じています。学習面においても、「自分はこの分野は得意だからこんなふうに学びたい」、「ここは苦手だからこういう学びの方が自分にはあっていると思う」など、自分にとって最適な学び方を考え、判断したり、調整したりできる力を育むことは、学び方を学び、自らの道を自分なりに切り拓いていく力につながっていくと考えています。

18歳になれば子どもたちは成人となり、有権者となります。数年後の社会の中で、自分で主体的に意思決定できることが求められるようになります。また、私は子どもたち自身が考えを持って行動に移すことを、教師をはじめ、大人が認めることで、自己有用感が培われるとともに、よりよい活動になるようにお互いに議論する必要性も学べると思っています。私たち大人が、効率良く「教える」ことで子どもたちの目標を達成することにつながることも多くあります。しかし、「教え込み」や「与えすぎ」により子どもたちの選択肢や考える機会を奪うことになってしまうことは避けたいものです。

大人の理屈ではなく、本人の意思決定による取組の過程や出来たことを認めたり、気持ちに共感したりしながら、考えを引き出し、判断して行動に移せる力を育てていきたいと考えています。そのとき、あくまで意思決定は生徒自身がするような言葉かけが大切だと思っています。例えば、「振り返り」を通して今の状態を自己分析するための言葉かけとして「やってみて、どうだった？」から始まり、どんなところが上手くいったり、いかなかったりしたのかを子どもたち自らの表現で引き出すというのはどうでしょうか。「目標設定」を引き出す言葉として、「どうしたい？」から始まり、その目標に向かって「どうすればいいと思う？」、「どんなことが手助けできるかな？」と言葉をかけたり、なかなか答えられない場合は幾つか選択肢を示して選ばせたり、選んだ理由を尋ねてみたりするのはどうでしょうか。なかなか、子どもたちの様子を見ていると歯がゆいことがあるかもしれません。でも、自分なりに考えを持って頑張っていたり、一人一人の考え方や成長は個性であり、その子の持ち味であったりします。教師や大人と一緒に考え、できたことを子どもたちと共に喜びあいながらサポートできることを願っています。「夢や目標が実現する力を育てる安行東中学校」を目指して教職員一同、保護者や地域の皆様とチーム安行東中として取り組んでまいります。